

ベンチャーキャピタルの活用法

－ VCから資金を調達するポイント、VCとの付き合い方・活用法 －

第7回 起業家経営塾

通信・放送機構 情報通信ベンチャー支援センター主催

2003年10月20日

本日の内容

1. 本日の趣旨とアプローチのご説明(5分)
2. パネリストのご紹介(15分)
3. VCから資金調達をする意味、調達することによって生じる責任、義務、負担(10分)
4. VCから資金調達をするポイント ... パネルディスカッション第1部(30分)
5. VCとの付き合い方、活用の仕方 ... パネルディスカッション第2部(30分)
6. 資金調達までのステップ(ベンチャーの視点から)(10分)
7. 質疑応答(20分)

1. 本日の趣旨とアプローチのご説明

● 趣旨

- ベンチャー企業の経営者、財務担当の方々に、VCの活用法、すなわち効果的な資金調達およびVCとの付き合い方へのヒントを得ていただく
- したがって、VCの都合よりは、むしろベンチャーの成長・発展にとって何が望ましいか、必要かという立場から議論を進める(それが両者にwin-winをもたらし、日本のベンチャー起業環境の健全な成長を促す)

● アプローチ

- パネリスト3社からそれぞれのアプローチ、考え方を順番にお話しいただくことにより、共通点・相違点を理解していただく
- ディスカッションの時間を十分取り、参加者の方々からの質問にできるだけ多くお答えする
- このセミナーに参加して、明日からの行動が変わったと言っていただけよう、できるかぎり具体的なヒント、ノウハウをお話しする

2. パネリストのご紹介

- エヌ・アイ・エフベンチャーズ
投資企画調査グループ 次長 西村 一則様
- 伊藤忠テクノロジーベンチャーズ
取締役 上村 伸一様
- 日立製作所
CVC室 部長 以頭 博之様
- ブレークスルーパートナーズ
マネージングディレクター 赤羽雄二
(モデレーター)

3. VCから資金調達をすることによって生じる 責任、義務、負担

- VCは出資して取得した株式の売却益を収益とするため、上場、売却を前提とする
- 株主総会・取締役会など、商法に則った企業経営が要求される(本来、当たり前)
- 資本政策に関して、会社側とVCとで利害調整の必要な場合がある
- 優先株・役員選任優先権など、投資家の権利がある程度優先される
- 株式買戻し条項、希薄化防止条項など、投資契約上の各種制約がある
- 報告責任(月次決算報告、事業戦略方針など)を持つ。それ自身は当たり前だが、そのコストが適正レベルを超える場合もある

4. VCから資金調達をするポイント (パネルディスカッション第1部)

- VCの投資アプローチ
 - 投資基準(どういったレベルのベンチャーを求めるのか)
 - 投資決定、振込みまでに必要な時間・プロセス
 - 1社あたり、1回あたりの一般的な投資額
 - 投資ステージ
 - 投資条件(取締役の派遣、その他の条件など)
 - 投資姿勢(リードインベスター、フォロワーなど)
 - VCから資金調達をするポイント
 - 事業計画の質を高めるには
 - 経営者、経営チームの質
 - 資金調達方針(投資家が企業価値が上がると判断する節目を理解して立案)
 - 弁護士などの活用
 - 交渉プロセス、交渉方法
- ... 資金調達が上手なベンチャーの例、下手な例

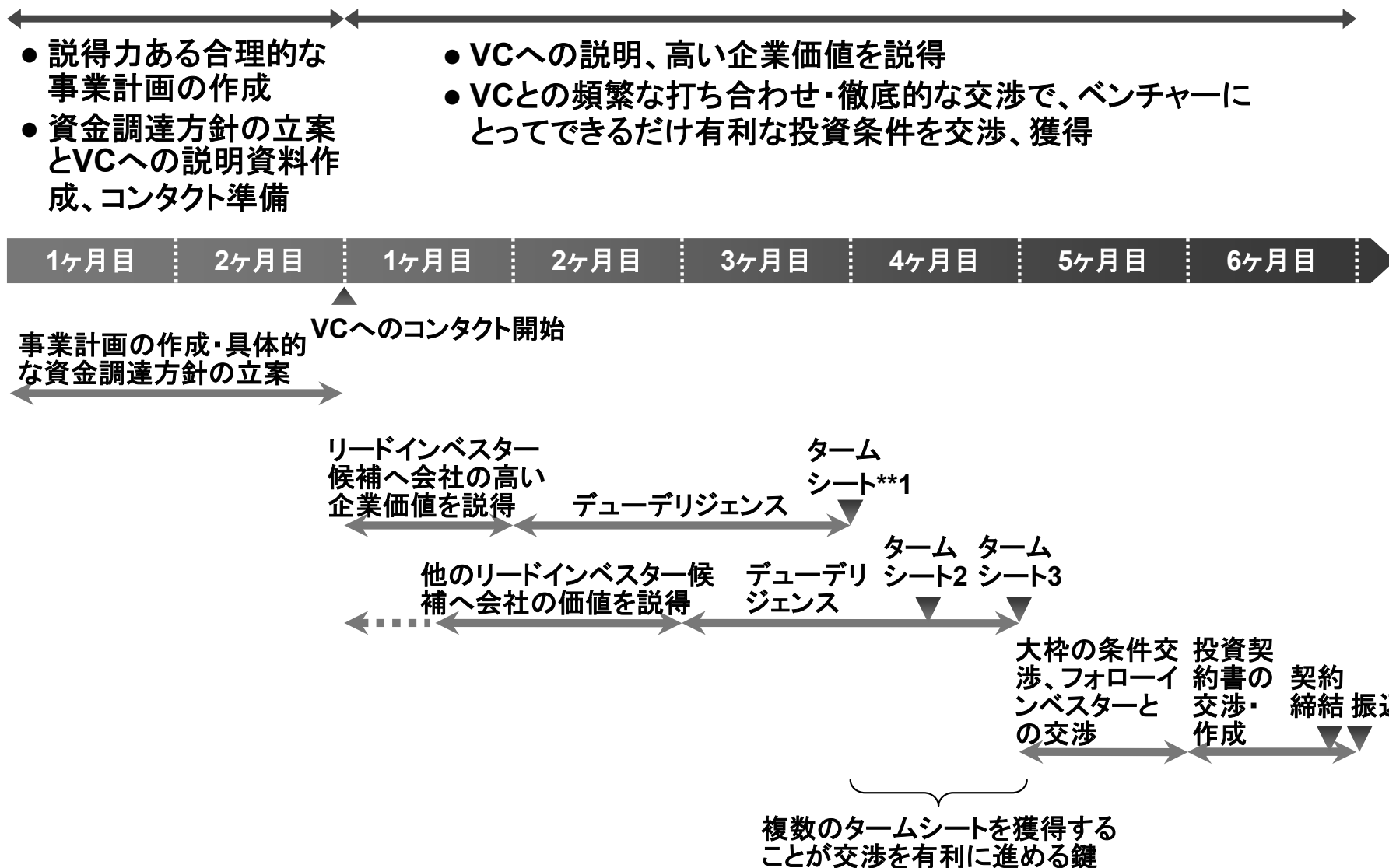
5. VCとの付き合い方、活用の仕方 (パネルディスカッション第2部)

- VCの立場から：
 - 投資後のフォローの目的、方法(内容、頻度、時間)
 - ベンチャーに期待する
 - 投資家への報告、コンタクトのしかた
 - 経営の姿勢、経営のあり方、経営戦略への取り組み、外部資源の活用
 - 資金の使い方
 - 追加調達のしかた
 - VCと付き合うポイント、活用するポイント
 - VCから最大の価値を引き出すためには
 - VCと付き合う負担を過剰にしないためには
- ... 上手なベンチャーの例、下手な例

6. 資金調達までのステップ(ベンチャーの視点から)

第1フェーズ(2ヶ月程度*)
事業計画の作成・見直し

第2フェーズ(6ヶ月程度)
資金調達



* 場合によっては3ヶ月程度必要

** 投資条件骨子へのソフトコミットメント(法的な拘束力はないが、業界プロフェッショナル間で強い拘束力を持つ)